



復刊第172号  
題字 吉岡彌生

# 巻頭言

副会長 橋川ふさ子

日本女医学会としまして一大イベントでございました創立百周年記念式典と祝賀会が大成功裡に終了しましたことは大きな喜びであり誇りでございます。

この行事の全容は、すでに会誌の前号で百周年記念特集として発行し「皇后陛下をお迎えして」と題して行啓の様子と感動的なおことばなどをつづぎに先生方にお伝えできたことと存じます。この意義ある佳き日に巡り会えました幸せに、参列者一同は感激ひとしおでございました。とともに女医学会百年の歴史の重みをひしひしと感じ入りました。そして、この会を支えてくださいました会員諸先生方に改めて心からお礼を申しあげます。記念品もたいへんに好評をいただきまして嬉しく存じました。

この式典の様子が各メディアに取り上げられまして、日本女医学会の存在をさらにアピールできましたことは大きな収穫でございました。

第47回日本女医学会定時総会が式典の翌5月19日に開催されました。多数の先生方のご出席をいただき盛会でございます。総会の前に評議員会が開かれまして各支部長からの報告や意見が続出いたしました大いに盛りあがりました。

二日間にわたりました会が成功裡に行われましたことを弾みにして、今後の女医学会の活動を一層活発に進めて行きたいと存じます。

本年4月に日本女医学会の青井禮子理事と会員の柳田喜美子(宮崎支部)先生が私どもの念願が叶い日本医師会常任理事に就任されました。大変に喜ばしいことでございます。女医

会の意見も反映していただき今後の活躍を期待する次第でございます。さてこの4月から診療報酬の改定が実施されてから五カ月が経ちましたが、先生方にはどのような影響がありましたでしょうか。開業医にとつては大問題でございます。

三方一兩損の諺に反した一方的なもので、医療の本質を無視したマイナス改定であります。経済効率と財政を優先する政策であり、国民サイドの医療を忘れたものです。ますます医療環境は多難な時代を迎えることになりました。日医は診療報酬のモデルケースとして、まず介護報酬の抜本的な見直しを進めたいといえます。少しでも明が見えるように改善されることを望まずにはいられません。

またこの10月から大改定があります。大きな負担が患者さんにかかってくるといわれていますが、いかがなものでしょうか。

第26回国際女医学会会議が東京で開催されることが決定しております。2004年7月28日から8月1日までの五日間、京王プラザホテルで行われます。テーマは「ニューライフスタイルにおける医療」でございます。日本では開催は第15回を1997年に東京で開催して以来です。会の成功を期して早速に組織委員会を立ち上げました。諸準備に充分な検

## もくじ

巻頭言	橋川ふさ子	(1)
第47回日本女医学会定時総会開く		(2)
第47回定時総会議事録	橋本 葉子	(2)
定時総会ご挨拶		(2)
各賞と研究助成		(2)
平成13年度各賞授賞者と授賞理由		(6)
吉岡弥生賞を受賞して	関根 みよ	(4)
荻野吟子賞を受賞して	安藤まさ子	(5)
荻野吟子賞を受賞して	稲葉美佐子	(5)
荻野吟子賞を受賞して	亀崎 善江	(7)
百周年記念特別功労賞を受賞して	今野 信子	(7)
地域功労賞を受賞して	吉武 幸	(8)
学術研究助成を授与されて	榎本 京子	(9)
学術研究助成を授与されて	大西 礼子	(9)
学術研究助成を授与されて	田辺 晶代	(10)
総会議演を新しい乳癌治療の体験を通して	久田 タカ	(10)
第7回国際女医学会西太平洋地域会議		(10)
西太平洋地域会議の報告	角田由美子	(12)
突然の座長役に大あわて	上田由紀子	(13)
普通の学会とは一味違う楽しさ	早水 陽子	(14)
若月賞をいただいで	山崎 倫子	(15)
武見記念賞を受賞して	澤口 彰子	(15)
女子医学生と女性医師とのシャッフルに参加して	古川 雅子	(16)
宮城県女医学会の女性健康相談室	山下 康子	(17)
会員稲葉美佐子先生の荻野吟子賞受賞	山本 蒔子	(18)
パーティ開く	秋葉 則子	(18)
月刊誌「ゆうゆう糖尿病」のご紹介	内濁 安子	(19)
「性教育ビデオ」のご活用を	子育て支援小委員会	(19)
新刊紹介	塩谷千賀子	(20)
「出すときこまる、出なくてこまる」	橋本 葉子	(21)
「サラリーマンの父から息子への、六十七通の手紙」		(21)
* 新医学用語辞典		(4)
* AAUWのお知らせ		(13)
* 理事会議事録		(21)
* 会員動静		(24)
* 編集後記		(24)

第47回日本女医学会定時総会開く

百周年記念の余韻のうちに '04年国際女医学会議開催など

平成14年5月19日、東京新宿の京王プラザホテルで、第47回総会が開催された。

橋本会長から前日の百周年記念式典・祝賀会のお礼などの挨拶があり、物故者への黙禱。続いて、会務報告、事業報告、平成13年度特別会計報告、橋本会長によるナショナルコーディネーター報告が行われた。

議事に入り、小田泰子、秋葉則子両先生が議長団に、中山年子、大塚貞子両先生が議事録署名人名人に出選され、第一号議案平成13年度一般会計収支計算、剰余金処分案が上提され、適正である旨の監査報告がなされ、原案どおり可決された。第二号議案平成14年度事業計画案、第三号議案平成14年度一般会計収支計算案がそれぞれ原案どおり可決。次に、第四号議案国際女医学会の件が上提され、「ニューライフスタイルにおける医療」をテーマに2004年7月28日

第47回定時総会議事録

日時 平成14年5月19日(土)

場所 京王プラザホテル

場 所 京王プラザホテル

午後12時34分開会

司会 清水洋子

出席者数 一、九九四名

記名委任数 五八一名

白紙委任数 二四八名

以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数(四一三七)に達し、総会が成立する旨の報告あり開会を宣す。

会長挨拶 会長 橋本 葉子

物故者への黙禱

平成13年度物故会員(二八名)に黙禱

報告

一、会務および事業報告 加藤 竺子

配布済みの資料にもつき報告

二、平成13年度特別会計報告

吉岡 弥生賞基金会計 青井 禮子

国際女医学会記念事業基金会計

百周年記念事業基金

ボランティア基金

2004年国際女医学会議基金

以上について配布済みの資料にもつき報告

三、ナショナルコーディネーター報告

議長団選出 小田泰子、秋葉則子

(議長団、議長団席に着席)

議事録署名人名人選出

中山年子、大塚貞子

議事

第一号議案

一、平成13年度一般会計収支計算

書 川田喜代子

配布済みの資料にもつき報告

原案どおり可決

二、剰余金処分案 川田喜代子

次期会計へ繰り越すことを原案どおり可決

会計監査報告 野澤 良美

監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告あり。

第二号議案

平成14年度事業計画案

・庶務部 加藤 竺子

会員増加推進

ブロック別懇談会の開催

吉岡 弥生賞

も準備に入っておりますが、あつという間に昨日の式典および祝賀会を迎えました。皆さまのご支援のおかげで、厳粛な中にも和やかな式典、楽しい祝賀会を無事終えることができましたことを厚くお礼申し上げます。

皆さまの中には、昨日の記念行事にご参加いただいた方もたくさんおられると存じます。私も役員は、できる限りのことはしたつもりでありますけれども、皆さまのご感想をぜひうかがわせていただきたいと思います。

本日からは気持ちも新たに日本女医学会のやるべきことを着実に実行していきたいと存じます。昨年度から新しいことにも着手しておりますけれども、例年行われておりますことは省略させていただきます。順不同ながら一端をご紹介します。

まず第一には、非常に嬉しいニュースでございます。日本女医学会会員の中から、青井禮子先生(日本女医学会理事、東京都医師会理事)と、柳田喜美子先生(宮崎県医師会常任理事)の二人が、日本医師会の第四次坪井執行部の常任理事に選任されました。私も女性医師の日本医師会への参画を希望しておりましたけれども、やっと今年度、それが実現いたしました。日本女医学会も、出来る限りの応援はさせていただきます。

藤まき子、稲葉美佐子、亀崎善江の三先生が受賞され、百周年特別功労賞として今野信子先生、地域功労賞として吉武幸先生が受賞された。学術研究助成金は橋本京子、大西礼子、田辺晶代の三先生が授与された。

より8月1日まで東京新宿の京王プラザホテルで開催される旨の説明について、第五号議案第10回中東女性交流事業の件が上提され、外務省の委託事業として日本NGO国内婦人委員会が行っている中東女性交流事業の今年度受け入れ担当団体となつた旨などの説明が会長からなされ、それぞれ可決された。第六号議案総会開催の件について次期東京、次期青森に可決決定された。続いて表彰が行われた。吉岡弥生賞に関根みよ先生、荻野吟子賞に安

定時総会ご挨拶

会長 橋本 葉子

皆さまこんにちは。今年の総会もよろしくお願ひ申し上げます。

もう一つ、これも嬉しいニュースでございます。西太平洋地域担当の前国際女医学会副会長Dr. Maxwell (ニュージールランド)が、日本女医学会百周年を記念してKATURIの木という非常に大きくなる木の苗木を五本植樹してくださいました。オークランドの少し南東にCoromandel Rainforestという保護区があり、植樹をしますと責任を持って育ててくれるそうです。植樹された苗木には「2002年日本女医学会創立百周年を記念して」というプレートがついているそうです。この木は数百年、数千年もずっと成長し続けるそうですので、オークランドにお出かけの機会があるときには、ちょっと足を延ばして、その苗木がどのくらい大きくなっているか、見てきていただきたいと思

います。それから、ここにお目にかけておりますそちらから向かって右側のは、台湾女医学会からの百周年記念寄贈品、左側のは韓国女医学会からの記念品として、昨日頂戴したものでございます。後でゆっくりご覧くださいませ。

次に、昨年度から社会福祉・医療事業団の子育て支援基金からの補助が三年間受けられることになりました。昨年度は十代の性教育のためのビデオ製作に当てました。このビデ

オは各支部に一部ずつ贈呈させていただきます。これを教材の一つに加えて、性教育活動をしていただきたいと存じます。その結果、どういう反応があったか、本部にお知らせいただきたいと存じます。2002年度も五八〇万円ほどの補助をいただきましたので、指導医の養成、ネットワークづくりなどに充当することを考えております。

それから、糖尿病の情報誌「ゆうゆう糖尿病」を創刊しました。これは医師向けではなく、主に患者さまの目線からの問題を探りあげ、月刊誌として発行予定になっております。発行元は日本女医学会ですので、女医学会の名を辱めないような編集をお願いしております。購読にご協力いただければ幸いです。

また、人材バンクも順調に登録及び運用が進んでおります。これからますます需要が増えることが予想されますので、まだ登録されておられない方は、ぜひご協力いただきたいと思

次は、読売新聞社主催の「医療功労賞」候補者の推薦の件でございます。以前は国内部門が地方部門と中央部門に分かれており、日本女医学会は中央部門の推薦団体になっておりました。昨年度から方式が変わり、国内は地方部門のみになり、県単位での推薦になりましたので、応募要

加藤 竺子

・学術部

学術研究助成

学術研修会

「女性医師のキャリア形成と健康調査」の実施

健康調査」の実施

・事業部

全国公募による公開講演会の

援助

荻野吟子賞、地域功労賞の決定と授与

地域医療奉仕活動への助成

社会保険新報社への原稿協力

月刊「いきいき」に健康記事掲載

講習会等の事業実施

災害、緊急時行動

バザー、親睦活動による事業

ホームページの更新と活用

人材バンクデータベースの

運用

糖尿病情報誌「ゆうゆう糖尿病」の発行

社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」より継続事業として助成を受け「十代の性と健康」

指導医の養成講座の企画・開催

厚生労働省「健やか親子21推進協議会」の協力団体としての活動

・渉外部

国内各団体との交流

国際交流

他団体との公開講演会の開催

国連NGO国内婦人委員会としての活動

国連NGO国内婦人委員会関連、外務省嘱託の中東女性交流事業の受け入れ団体としての諸活動

女性の異業種団体との交流

・広報部 加藤 竺子

・広報部

年四回の機関紙発行

・百周年記念事業委員 加藤 竺子

記念式典・祝賀会の開催

「百年史」の発行「世界最初の女性医師」エリザベス、ブラックウエルの「一生」の発行

第26回国際女医学会(2004年7月28日開催予定)に向けての諸活動

原案どおり可決

・森川由紀子

原案どおり可決

・橋本 葉子

第四号議案

国際女医学会の件

「ニューライフスタイルにおける医療」をテーマに2004年7月28日より8月1日まで京王プラザホテル(東京・新宿)で開催され、協力の要請。

原案どおり可決

・橋本 葉子

第五号議案

第10回中東女性交流事業の件

外務省の委託事業として日本

初夏の風薫る今日の佳き日「平成14年5月18日」、全国から日本女医学会の先生方がたくさんお集まりの中、皇后陛下のご臨席を賜り、日本女医学会百周年記念式典が盛大に行われましたこと、まことにめでたく心よりお祝い申し上げます。

埼玉県に生まれ育った私が、この佳き年に「荻野吟子賞」を受賞いたしました。しかし私のような者がこの賞をいただけるのは、埼玉県支部の初代支部長東より先生、ついで佐々木道子先生（九十二歳にてご健在です）、島田春江先生、関根みよ先生



埼玉支部 安藤 まさ子

▼荻野吟子賞を受賞して

（本年度吉岡弥生賞受賞）、加島なみ先生、服部紀代子先生、そして現在の深井登起子先生までの歴代の支部長先生、役員並びに会員の皆さまの地道な活動の賜でございます。特に平成7年の日本女医学会総会を埼玉県でお引き受けいたしましたとき、あの1月17日の阪神淡路大震災、ついで3月のオウム真理教によるサリン事件により全国が騒然となる中で、総会の中止やむなきと思われたときに、関根みよ支部長の下、各役員ならびに会員諸先生方のなみなみならぬご努力により、総会を中止することなく、全国から多数の会員の先生



千葉支部 稲葉 美佐子

▼荻野吟子賞を受賞して

日本女医学会創立百周年式典に皇后陛下の御臨席を仰ぎ、その感激の覚めやらぬ翌日、総会で栄誉ある「荻野吟子賞」を拝受いたしました。八十二歳の私の生涯において最高の喜びでございます。ありがとうございます。日本女医学会秋葉千葉県支部長をはじめ、歴代の支部長のご推薦と選考委員会の高配によるものと感謝をいたします。

戦争のため、東京女子医専を昭和16年12月繰上げ卒業の私は、母校の小児科に入局、結婚、出産と順調な人生でしたが、東京大空襲により、

家が強制疎開になり、信州の親戚の寺、光蓮寺に疎開しました。

壇家の村長に終戦までと懇願され、終戦までと、用意された家に8月1日に移り住み、8月15日に終戦になりました。豪雪地帯の山村ですが、私を信頼し、村をあげて誠意をつくされる人々に医者として生き甲斐を感じ、去り難く感謝の毎日十年間住みました。

昭和31年、習志野市に信州の人たちが診療所を建てに来てくれました。私はまず母校を訪ねました。磯田教授は「魚が水を得た」と喜ばれて、

「何でも診られることは強みだ」といつてくださいました。その後第二病院で草川、村田両教授のご指導をいただき、肥満の研究の基盤に習志野がお役に立ったことをうれしく、教育委員会に感謝しております。

医師会活動においては、予防接種副反応時代に、平山宗宏教授には何かと指導をいただき、年長児種痘の弱毒ワクチン接種は、近隣の市町村から注目されました。

またヘルスカウンセリング学会千葉県支部、愛称をクリオネの家と称し、ボランティアでカウンセリングをはじめ五周年になりました。

今回の受賞を記念して「一家に一人のカウンセラー」をめざして、「やさしいカウンセリング教室」を計画しました。7月5日よりはじめます。残り少ない人生ですが、よい仲間にごさえられ、他人さまのお役に立つことができるよるごびを生き甲斐にしようしがんばりたいと願っています。今後ともよろしくご指導ご支援をお願い申し上げます。

受賞は私一人のものではありません。よき師、よき友、よき仲間の皆さんに支えられていたいたものです。皆さまに拍手をおくり、お礼の言葉といたします。

ありがとうございます。

全くの手探りのスタートではございましたが、まず会員増強を手始めに年間の計画をたて、総会は元より山崎先生にお越しいただいての公開講演会、病院または施設見学会、音楽会（医師会合流）、そして旅行等、全力投球でがんばりました。

埼玉は理事の先生方の団結心強く、全面協力していただきましたお陰で、十年間つつがなく務めることができました。

平成7年(旧)日本女医学会総会を、埼玉で開催いたしました折、赤いベスト姿(ユニホーム)の役員の先生方の大いなる活躍は、想い出新たでございます。

最後に日本女医学会、各支部会のみすますの発展を祈念しつつ感謝の言葉といたします。

方にお集まりいただき盛会に終了できましたことを評価されたものと思っております。

さて、私事ですが、ただいま八十三歳になりました。網膜色素変性症にて視覚障害者となりまして、現在には患者を直接診察できませんが、この受賞により光明をいただき、この光を道しるべとして、私の好きな加藤静枝さん（百四歳で天寿を全うされた）の言葉「日々新たに感動を求

めて」のごとく、与えられた命を大切に精進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、日本女医学会が今後二百年、千年とますます隆盛でありますことを祈念いたします。お礼の言葉とさせていただきます。このたびは本当にありがとうございます。

「何でも診られることは強みだ」といつてくださいました。その後第二病院で草川、村田両教授のご指導をいただき、肥満の研究の基盤に習志野がお役に立ったことをうれしく、教育委員会に感謝しております。

医師会活動においては、予防接種副反応時代に、平山宗宏教授には何かと指導をいただき、年長児種痘の弱毒ワクチン接種は、近隣の市町村から注目されました。

またヘルスカウンセリング学会千葉県支部、愛称をクリオネの家と称し、ボランティアでカウンセリングをはじめ五周年になりました。

今回の受賞を記念して「一家に一人のカウンセラー」をめざして、「やさしいカウンセリング教室」を計画しました。7月5日よりはじめます。残り少ない人生ですが、よい仲間にごさえられ、他人さまのお役に立つことができるよるごびを生き甲斐にしようしがんばりたいと願っています。今後ともよろしくご指導ご支援をお願い申し上げます。

受賞は私一人のものではありません。よき師、よき友、よき仲間の皆さんに支えられていたいたものです。皆さまに拍手をおくり、お礼の言葉といたします。

ありがとうございます。

項に記載されております推薦項目が変わってきております。皆様の地域でも、そのいずれかの項目に該当なさる先生がおられると思いますので、多くの支部から候補者のご推薦をお願いしたいと存じます。読売新聞社からできるだけ早く応募要項を入手するつもりでおりますので、近いうちにご連絡くださいませ。

次に、国連NGO国内婦人委員会の加盟団体としての活動にしましては、そこでは、議題になっておりますので、そこで申しあげます。

国際女医学会にしましては、2004年に第26回国際女医学会議をこの京王プラザホテルで開催すること

各賞と研究助成

▼吉岡弥生賞を受賞して



埼玉支部 関根 みよ

このたび日本女医学会創立百周年の記念すべき佳節の折、5月19日の総会において、女医学会最高の栄誉である吉岡弥生賞を戴きまして誠に光栄に存じます。多くの方々のご支援、

ご協力の賜と存じ、またこのたびご推薦くださいました折、赤いベスト姿(ユニホーム)の役員の先生方の大いなる活躍は、想い出新たでございます。

最後に日本女医学会、各支部会のみすますの発展を祈念しつつ感謝の言葉といたします。

私は戦前戦後の激動の時代から地域医療に携わりまして、間もなく六十年になります。その間日本女医学会に入会し、埼玉支部は当時先輩の先生方が活躍でしたが、その後十年空白の時代がありました。本部にご迷惑をかけ申しわけないという思いが常にありまして、昭和60年発起人会を開き、私が支部長に推選されまして、61年に埼玉支部は新たに発足いたしました。

受賞の対象となりましたのは、社会貢献部門、特にその内容は、日本女医学会埼玉支部の復興に多大なる貢献というお言葉を頂戴し、感激いたしました。

私は戦前戦後の激動の時代から地域医療に携わりまして、間もなく六十年になります。その間日本女医学会に入会し、埼玉支部は当時先輩の先生方が活躍でしたが、その後十年空白の時代がありました。本部にご迷惑をかけ申しわけないという思いが常にありまして、昭和60年発起人会を開き、私が支部長に推選されまして、61年に埼玉支部は新たに発足いたしました。

新医学用語豆辞典

学習障害(LD=Learning disability)

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはない小児が、学童期になって、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力が年齢、知的水準から期待されるより明らかに低く学業成績に影響しているもの。読字障害、算数障害、書字表出障害などと表現される。

注意欠陥/多動性障害(attention-deficit/hyperactive disorder)

不注意、多動性・衝動性が持続することで、同程度の発達のものと比較してより重症である。その特徴は7歳以前から認められ、このような行動は通常、家庭、学校、対人場面などで見られる。男児に多く、学童期の小児の3~5%に認められる。

東京女子医科大学 小児科 斎藤加代子

- NGO国内婦人委員会が行っている中東女性交流事業の今年度の受け入れ担当団体として、協力と支援の要請。
- 原案どおり可決
- 橋本 葉子
- 第六号議案
- 次期および次々期総会開催地に關する件
- 次期開催地 東京
- 次々期開催地 青森
- 原案どおり可決
- 橋本 葉子
- ①吉岡弥生賞受賞者 関根みよ
- ②荻野吟子賞 安藤まさ子、稲葉美佐子、亀崎善江
- ③百周年記念特別功労賞

- ④地域功労賞 今野信子 吉武 幸
- ⑤学術研究助成金授与者 榎本京子、大西礼子、田辺晶代
- 本紹介
- 「世界最初の女性医師」エリザベス・ブラックウエルの一生」
- 大原 一枝
- 講演会
- 「新しい乳癌の治療の体験を通して」
- 久田 タカ
- 閉会の辞
- 石原幸子
- 午後3時20分閉会

このたびは、本当に思いがけない、名誉ある賞をいただきありがとうございます。当日、会場に着くまで、何かの間違ったような気持ちで、九州に帰りましてからも夢の中の出来事のように思えておりました。それが、病院の理事長や院長が大変喜んでくださり、朝礼で職員に披露するようにいわれ、その前晚、もう一度、あの「花埋み」の本を読み直した時、改めて荻野吟子先生の壮烈な生涯に打たれ、この賞の重さがわかり始めたのでした。そして、心の底からの喜びが沸きあがって参りました。それにつきましても、こんなにふさわしくない、貧しい者のためにご尽力賜りました諸先生方のご温情に心から感謝申し上げます。

昨日の朝日新聞で、橋本会長様の記事を拝見し、賞状をお手渡しいただいたときの優しい笑顔も思い出され、また喜びが増しました。

女医学会、百周年の良き年、そして東ティモール独立の日に、この賞をいただくことができましたのも何か偶然以上ものを感じます。そして、



▼荻野吟子賞を受賞して

新田原聖母病院

亀崎善江



新宿支部

今野信子

この賞は私と一緒に十年間、あの国に行ってきた方々、長期休暇

▼百周年記念特別功労賞を受賞して

日本女医学会創立百年の記念式典と行事も一糸乱れぬさわやかさと華麗な雰囲気のもとに終始されましたことはまことに同慶の至りでございます。

会長橋本先生はじめ執行部の諸先生にはさぞお疲れのことと存じます。心よりお礼とご苦労申しあげる次第でございます。

1902年前田園子先生、吉岡彌生先生のご提唱により女医の団結と研究を目的として日本女医学会が創立されました。百年前のこの時代において両先生の偉大なご発想に私は今改めて心より敬意を捧げるものであります。

またこの創立百年の記念として日

を認めてくださった病院、祈りで支えてくださった修道会の姉妹方のものと感じております。

貧しい病人方とともにいるのが何より楽しい私です。好きなことをして、誉められて、この年になって本当に幸せを感じております。ありがとうございます。

この歴史的な祝典に際し、思いがけなく私にまで百周年記念特別功労賞をいただきまして、微力な私にとためらいつつもありがたくお受けした次第です。

いただきました賞状には、「貴女は日本女医学会入会以来、常に会の発展に心を配られ、公平な立場で日本女医学会の発展のために尽力くださいました」とあり、改めて自分を振り返った次第です。私は以前東京都眼科医会会長、日本眼科医会監事、至誠会東京都支部長、日本女医学会東京

を認めてくださった病院、祈りで支えてくださった修道会の姉妹方のものと感じております。

貧しい病人方とともにいるのが何より楽しい私です。好きなことをして、誉められて、この年になって本当に幸せを感じております。ありがとうございます。

この歴史的な祝典に際し、思いがけなく私にまで百周年記念特別功労賞をいただきまして、微力な私にとためらいつつもありがたくお受けした次第です。

いただきました賞状には、「貴女は日本女医学会入会以来、常に会の発展に心を配られ、公平な立場で日本女医学会の発展のために尽力くださいました」とあり、改めて自分を振り返った次第です。私は以前東京都眼科医会会長、日本眼科医会監事、至誠会東京都支部長、日本女医学会東京

※平成13年度各賞授賞者と授賞理由※

〈吉岡弥生賞・社会に貢献した部門〉

関根 みよ 昭和61年より平成8年まで十年間に亘り日本女医学会埼玉支部長として会員増強に尽力、学術講演や懇親会を開催して支部の活性化を図り、また日本医師会支部役員との交流を深めるなど支部の復興に努力し日本女医学会の活動に多大な貢献をした。

〈荻野吟子賞〉

安藤 まさ子 ●戦後まもなく地域保健事業のパイオニアとして活躍、東京小児療育病院の設立運営に参画、西洋医学に満足せず東洋医学も研鑽され、更に視覚障害者や高齢者の医療アドバイザーとして活躍している。この広範囲な医療並びに社会活動に対する受賞

稲葉 美佐子 ●昭和16年に医学専門学校を卒業以来、保健活動に従事、医院開業後も始終学校保健に尽力され、ヘルスカウンセリング学会・千葉県支部を設立し、特に小児のカウンセリングに多大な貢献をした。この学校保健教育並びに社会活動に対する受賞

亀崎 善江 ●昭和18年に医学専門学校を卒業以来カトリック信者として貧困者治療に従事、平成3年からは東ティモールでの医療奉仕活動を続けている。この永年に亘る貧困者への献身的医療活動並びに国際的医療活動に對しての受賞

今野 信子 ●日本女医学会に入会以来、常に会の発展に心を配り、公平な立場で会発展のため尽力された。

〈日本女医学会百周年記念特別功労賞〉

吉武 幸 ●開業以来地域の医療活動に専念される傍ら先端医療を取り入れ、自らの研鑽も怠りなく学校保健、保健所健診、在宅医療など地域医療の担い手として、たくさんの方々に奉仕している

〈地域功労賞〉

を認めてくださった病院、祈りで支えてくださった修道会の姉妹方のものと感じております。

貧しい病人方とともにいるのが何より楽しい私です。好きなことをして、誉められて、この年になって本当に幸せを感じております。ありがとうございます。

世代を超えた  
ニューマクロライド



- 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
- 1.本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
  - 2.テルフェナジン、シサプリド、ピモジドを投与中の患者
- 〔添付文書「相互作用」の項参照〕

※「用法・用量」、その他の「使用上の注意」等は、添付文書をご参照ください。

マクロライド系抗生物質

**クラリス**®錠200  
錠50小児用  
ドライシロイ小児用

指定医薬品・要指示医薬品®(日抗基:クラリスロマイシン)  
注)注意-医師等の処方せん、指示により使用すること

大正製薬株式会社  
東京都豊島区高田3丁目24番1号  
電話 東京(03)3935-1111(大代表)

〔資料請求先〕

1999.4  
CL114A43A



iDiabetes.jp

@-Lilly

つながると、つながる。

Diabetes.co.jp



いつでも、どこでも、患者さんのサポートができることを願って——。

日本イーライリリーは、i-modeサイトにも糖尿病患者さんのためのiDiabetes.jpを開始しました。

糖尿病に役立つ情報をご覧いただけるiモードサイト [www.iDiabetes.jp](http://www.iDiabetes.jp)  
ウェブサイト [www.Diabetes.co.jp](http://www.Diabetes.co.jp)

日本イーライリリー株式会社  
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

INS-A003 (R0)  
2002年1月作成

都支部連合会会長を経験してまいりました。そして思うことは、内外の諸問題が発生するたびに会員の和は一層強く、会の機能はより活発な意欲が生まれてくるということです。

日本女医学会も2004年、国際女医学会が日本で開催され、内外の活動範囲はますます拡大されつつあります。このチャンスに会員の増強などの諸問題を新しいアングルから働きかける事も重要な事と考えます。

また本会創立百年の今日、日本医師会の執行部の常任理事として青井禮子先生が就任されました。女性が就任されたことは日本医師会の歴史からみても、また日本女医学会にとりましては、まさに意義のあることです。日医ニュースによれば会長坪井先生は「女性医師が二人執行部に入り早速に積極的な意見をいただいている。女性が男性と対等あるいはそれ以上の大きな役割を果たす時代を迎えていることを感じている」と挨拶されています。私も会員もこの意識を今後も一層強力にし、今世紀の女医としての使命に努力し邁進して行かねばならないと思ふ次第です。私は今年八十九歳。歳をとりましたが日本女医学会を愛する心は一向に年を取りません。

今後の本会のさらなる発展を楽しみに、一筆受賞お礼のご挨拶といたします。



荒川支部 吉武 幸

▼地域功労賞を受賞して

新緑映える5月、日本女医学会総会にて栄えある地域功労賞をいただき、恐悦いたしております。

私は東京の片隅荒川遊園の近くに昭和31年小さい診療所を構え、戦後復興半ばの時期、町並はバラックの家並でした。医療保険も整わず生活保護と自費診療が多く自費も一点十円と社会保険と同額に診療費は高かったが、それでも医療費に乏しい家庭が多く重症の疾患の多い毎日でした。

卒業後基礎に籍を置き、二児を授かり養育費は私の給料をあて、清貧に甘んじておりました。

開業は私のみで、夫は研究所と病院勤務、加えて看護婦不足のため二人看護学校に入学させながら早朝診療、午後は看護学校に出し、帰る子女を待ち、夜遅くまで診療いたしました。それ以後十数人の看護婦を養成し社会に送り出しました。

開業当時顕微鏡とレントゲンで今流行のEBMの魁のような診療をし、人々の質問にはできる限り納得いくように説明し、情報提供のない時代

近くの病院に紹介状を書き、送りました。病院は当方をよく理解してくださり、現在も心良く受け入れていただいております。故草川三治教授は看板のない医者と褒めてくださいました。

私が新米医師時代子供のベビージッターに給料の大半を渡し、経済的に苦勞したので、若い医師には保育所が必要欠くべからざることと思い、少しですが至誠会保育園設立時より寄付し続け、赤字にも貧しい子どもたちのためと送り続け、社会に恩返しと考えます。そしてこのことが少しでも医師の偏見に対応し得ると思えます。

私の診療の信条として女子医大の祖、吉岡彌生先生のお教えの一つ、風呂に片足を入れても患者が診察を乞うなら診さないといいたいことを守っており、患者の多いのもこの教えの賜と感謝しております。

今総会で大阪医大教授大原一校先生が新宿余丁町で親交がありました。お義父様の武夫先生とブラックウェル女性医師の共著を発刊されたと同

い、不思議な巡り合わせに感無量でした。また、大原先生も武夫先生を知っている者に会えて嬉しいといわれ、お義父様を敬愛されているようにうすに泣きました。このような感激の会場で私如きが賞をいただけました。

▼学術研究助成を授与されて



埼玉支部 榎本 京子

第23回日本女医学会学術研究助成を頂戴し、ありがとうございます。本年は女医会百周年であり、このような記念すべき年に本助成を頂いたことを大変光栄に思っております。

今回研究課題「高速MRIを用いた胎児中枢神経系正常発達と先天奇形の描出」にて助成をいただきました。近年めざましい進歩を遂げる画像診断部門において、今まで超音波検査が主体であった胎児診断にMRIという新しい診断基準が加えられつつあります。胎児検査は母体妊娠継続の判断や胎児子宮内治療の適応を直接に左右するものであり、慎重かつ的確な診断がとくに要求される領域です。

そのためには胎児の正常発達過程の把握が必須です。特に胎児中枢神経系発達には月齢による変化が急激で

たのは、諸先輩、後輩のご支援とご理解による賜と深く感謝いたします。私事ですが突然死した敬愛する夫にこの句を届けたく存じます。

寂として  
ほほえむ夫に 酒を汲み

あり、正常か否かの判断は時として困難です。一方MRI機器の発達により母体の呼吸停止下に、母体、胎児ともに鎮静を必要とせず、胎児の静止画像を得ることが可能となりました。本課題では、中枢神経系以外の異常精査目的でMRIを施行された胎児を対象として、脳のMRI画像上での正常発達過程を研究し、脳の先天奇形を疑われる胎児については異常所見の描出と質的診断が可能であるか、指摘した異常所見の正確性について比較検討を目的としております。

正常胎児MRI画像において脳室は在胎二十五週までは拡大があり、それ以降は縮小を示します。また、主たる脳回、脳溝構築は在胎三十から三十二週で脳表に出現します。また脳実質内部尾の髄鞘形成も在胎二

▼学術研究助成を授与されて



東女医学内支部 大西 礼子

十週程度から観察可能です。これらの変化は正常剖検脳に比較しやや遅れておりますが、これはMRI装置、撮像方法のさらなる発達と検討課題であります。また先天奇形につきましても形態診断はおおむね可能と考えられます。

本課題には早期より取り組んでまいりましたが、初期には磁気が胎児に与える影響が未だ明らかでない点、MRI画像の信憑性などについての多くの意見を頂いたことを思い出します。そのような中で常に励まし、研究を続けさせて頂きました埼玉医科大学放射線医学教室平敷淳子教授に深謝いたします。

このたびは、「細菌性スーパー抗原 YPM (Yersinia pseudotuberculosis-derived mitogen)」によるマウス T細胞の機能解析」という研究課題において、平成14年度日本女医学会学術研究助成を賜り、心よりお礼を申し上げます。

スーパー抗原は、1989年に登場した概念でアクセサリ細胞上の

百周年記念事業寄付者一覧 (第4回・平成14年9月10日現在)

- 会員 (氏名) (支部名)
- 大場 幸子 (宮城)
- 高橋 美奈子 (宮城)
- 樋渡 奈奈子 (宮城)
- 京都支部 (京都)
- 一般企業
- ノバルティスファーマ(株)
- 武田薬品工業株式会社
- 三共株式会社
- 山之内製薬株式会社
- 大正製薬株式会社
- 第一製薬株式会社
- エーザイ株式会社
- 藤沢薬品工業株式会社
- 塩野義製薬株式会社
- 住友製薬株式会社
- 田辺製薬株式会社
- 大塚製薬株式会社
- 沢井製薬株式会社
- 帝國臓器製薬株式会社
- 祐徳薬品工業株式会社
- アップリカ葛西(株)
- ㈱国際医薬品臨床開発研究所
- ファイザー製薬株式会社

究の機会を与えてくださいました本会諸先輩方に心より感謝するとともに今後ともよろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ありがとうございます。

MHCクラスII分子に直接結合して通常の免疫抗原に対するセプター(TCR)β鎖の可変部に特定のVβエレメントを発現する莫大な種類のT細胞クローン集団をほぼすべて一括して活性化させる能力を持つ抗原物質と定義されています。本研究においては、細菌性スーパー抗原である Y. pseudotuberculosis-derived

mitogen (YPM) や toxic shock syndrome toxin-1 (TSST-1) を使ってマウスやヒトのT細胞の機能解析、さらにI型アレルギーの機序の解析を行っています。

アレルギーの発症にはT細胞が関与していることが既に知られていますが、特にアトピー型のアレルギーでは、これまでCD4陽性ヘルパーT細胞であるTH1細胞、TH2細胞のうち、TH2細胞が関与していることがわかっています。私たちは、スーパー抗原のうち、TPMやTSST-1によって活性化されたCD4T細胞をTH1、TH2細胞に分化させ、特にTH2細胞の活性化機序についての研究をすすめています。

本研究の特色は、細菌性スーパー抗原による過剰な免疫反応をマウスやヒトのT細胞サブセットレベルで解析し、さまざまな免疫機序の異常

New Sulfonylurea  
**Amaryl**

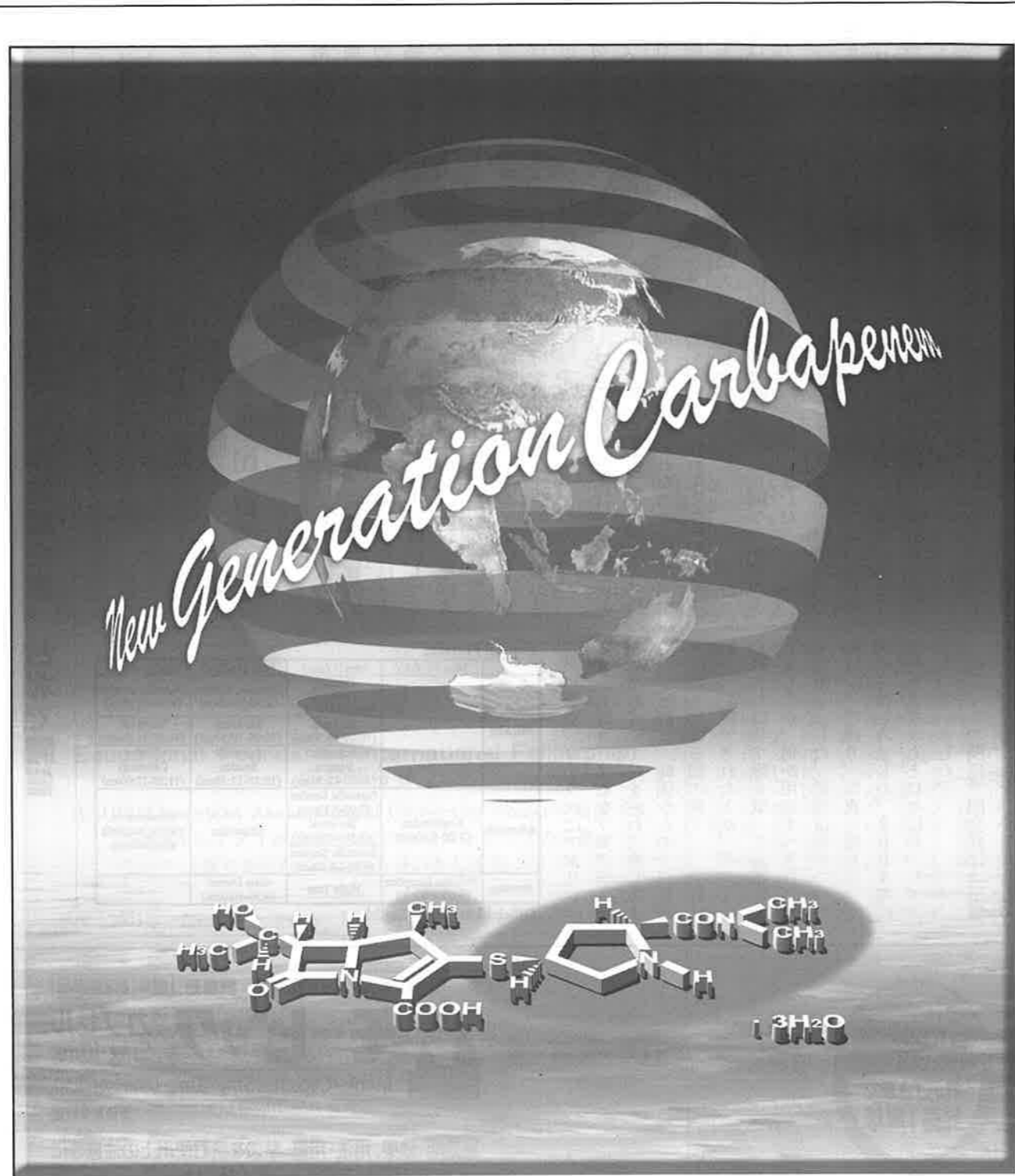
Amaryl® スルホニルウレア系経口血糖降下剤  
創薬 指定医薬品 製法示医薬品<sup>1)</sup>

**アマリール® 1mg錠 3mg錠**

グリメピリド製剤 ●薬価基準収載  
注) 注意一医師等の処方せん・指示により使用すること

製造・販売:  
アベンティス ファーマ株式会社  
〒107-8465 東京都港区赤坂二丁目1番51号

★「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」等は、現品添付文書をご参照ください。  
★資料は当社医薬情報担当者にご請求ください。  
2002年4月作成 AM-JB5B/W1/2 (A1-1) 0204-KK



カルバペナム系抗生物質製剤 薬価基準収載

指定医薬品・要指示医薬品 (注意—医師等の処方せん—指示により使用すること)



**メロペン**® 点滴用 0.25g・0.5g  
**Meropen**® 注射用メロペナム 略号: MEPM  
 0.5g(キット)

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等につきましては添付文書をご覧ください。

住友製薬

製造発売元 (資料請求先) 住友製薬株式会社

〒541-8510 大阪市中央区道修町2丁目2番8号

TEL: 06-6229-5600  
 受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝・祭日を除く)

を考えられる疾患に活用できる可能性がある点です。私たちが眼科領域において治療に苦慮している難治性ぶどう膜炎やアレルギーは生態防御の要である免疫機能の異常が根底にあり、これらの病態を把握し、治療に役立てるためには、T細胞サブセットレベルでの研究が必須と考えられます。

### ▼学術研究助成を授与されて



東女医内支部 田辺 晶代

このたび平成14年度日本女医学会学術研究助成を授与していただきましたこと、心からお礼を申し上げます。私は東京女子医科大学第二内科入局以来、心血管系ホルモンに関する研究を行ってきました。今回の受賞テーマであるウロテンシンIIは元来、魚類の尾部下垂体(下垂体後葉に類似した組織)から発見されたペプチドホルモンであります。当初は魚類において水、電解質代謝、腸管などの機能調節に関わるホルモンとして知られていました。しかし近年、ほ乳類においてきわめて強い心血管収縮作用を示すことが明らかとなり、その生理的、病態生理学的役割が脚光を浴びています。ヒトウロテンシ

ンIIの発見に先立ってヒトのオーファンレセプター(結合するはずのホルモンが未発見の受容体)であるGPR-14がクローニングされました。このGPR-14に特異的に結合するホルモンとして見いだされたのがヒトウロテンシンIIです。生体内でウロテンシンIIは延髄や脊髄に、受容体であるGPR-14は中枢神経系と心臓に多く発現しています。ウロテンシンIIは11個のアミノ酸から成り、各種動物(ラット、イヌなど)の単離血管(胸部大動脈、肺動脈、冠動脈)において強力な血管収縮作用を示すことが報告されています。一方ヒトでは、他の多くの血管収縮ホルモンと同様に血管平滑筋に対する直接的な血管収

縮作用と血管内皮を介する弛緩作用の両者を有しています。そのため、内皮傷害が存在する高血圧性疾患、動脈硬化性疾患では、内皮依存性の反応が減弱し、血管収縮作用が前面に出てくるのが予想されますが、いまだ不明な点が多いのが実状です。生体内に存在するホルモンは必ず重要な役割を担うと考えられます。今回いただいた助成を有意義に活用して、ウロテンシンIIの生体内での作用を明らかにすると共に、心血管

### ＜総会講演会＞ 新しい乳癌治療の体験を通して

理事 久田 タカ

2000年5月に、天から飛んで来たような癌細胞により、私は乳癌になりました。そして六時間半にわたって行われた乳癌の手術。乳房切除、腋下线リンパ腺、頸部リンパ腺、大胸筋、小胸筋を切除し、その後放射線の照射を18レントゲン受け、抗癌剤の内服薬を飲みましたが、たちくらみ、めまいがひどく、四日間しか服用できませんでした。その後はサプリメントの乳酸菌生産物質をめいっぱい飲みました。その後、仕事も趣味も術前の生活にもどりました。2001年10月に、胸の中央に小

指頭大の扁平な、いぼのようなものを見出しました。そのものは大きくなるのではなく、毎日毎日数が増えつづけ、アツというまに、胸一杯になり東京女子医大でブローベをとったところ、癌だったのです。その時HER-2の細胞が陽性に出ましたので、遺伝子治療が受けられることになり、直ちに入院し、各種検査結果を厚生省に提出し、ハーセプチンの認下を待ちました。デカドロン「ハーセプチン」タキソール「鉄剤」を入れ、十四時間かけての点滴を受けました。十時間たったころ、腫瘍が消えはじ

めしました。2月20日でハーセプチン十一本、タキソール四本の治療が終了、その後、代替療法に移り、現在にいたっています。このハーセプチンを使った療法が今話題になっている癌の原因となる遺伝子の働きを阻害するバイオの新薬の一つです。モノクローナル抗体免疫療法なのです。HER-2細胞は乳癌の20%に効力があります。しかしHER-2が1の人はホルモンレセプターが十となり、乳癌の60%はエストロゲンレセプターが十で内分泌療法によく反応します。要するにホルモンレセプターでHER-2が十となり全く相反するものなのです。ですから乳癌の場合は個々の人により、その持っている癌の性格によって、使う薬が変わってきます。一人一人の患者さんに合った治療がもう現実具体化してきているということ。乳癌の再発を予防できる薬があるのか、という問題になります。現在、①ホルモンレセプター十の人は、第一次ホルモン剤、第二次ホルモン剤、第三次ホルモン剤というように、数種類の効くホルモン剤がでてきているので、順次段階を追って使っていく、②ホルモン感受性のない場合は、抗癌剤治療ということになります。主治医とよく相談することです。

第7回国際女医学会西太平洋地域会議、台北で開催

西太平洋地域会議の報告

—盛大に、しかもはなやかに—

理事 角田由美子

第7回西太平洋地域会議は、台北市圓山大飯店において5月10日〜13日の間、十四カ国からの参加者を得て盛大に開かれました。

プログラムは別表の如くで、短期間ながら充実した内容でした。会に先立ってのWelcome Receptionでは、次々に集まる人たちが話の輪が出来、遅くまで賑わいました。影絵切り、中国結びのアクセサリー作りなど出店も用意されていて、われわれもその行列に並びました。

開会式は厳粛な中にも華やかさのある会でした。来賓の呂秀蓮副大統領は、親しみ易い雰囲気での女性医師の力を称えてくださいました。会議のメインテーマは、Women Health Promotion and Rejuvenation in the 21st Centuryと云うことで、産婦人科関係の発表が多かったようです。各国の演者は圧倒的に若い方が多く、さまざまな分野での研究発表がなされました。

台湾の女性医師に関して統計的資料に基づく発表によると、会員数は約三、三五〇名で、平均年齢は三十七歳、専門としては小児科がもっとも多く、ついで内科、眼科、産婦人科と続き、外科は少なく2・4%、耳鼻咽喉科は2%に過ぎないそうです。やはり近年女性医師の増加が見立っています。

Tea break timeには、Stretching exercise、fitness YOGAなどの時間もあり、配られたスカーフや運動着を用いて、皆Refreshmentに励みました。昼食時には、二日間ランチボックスが用意されていました。Optional night tourには外国人の多くが参加しましたが、おいしい海鮮料理が用意されていて皆大満足でした。街々の案内も、会員自らがしてくださいました。最後の夜のGardinerでは、フルート、ピアノ、ヴァイオリンなどのソロ演奏、コーラスにアポリジニのダンス等々、多彩なプログラムが用意されていて時を忘れて楽しめました。圧巻は、韓国からの十二名の女医たちによる扇の舞で、三カ月にわたって練習されたとか。芸のないわれわれは皆で歌を歌ってお茶を濁しましたが、何か用意すべきだったと後悔しました。最後は皆が一つの輪になって踊り、写真を撮り合っていました。2004年には行き来からと口々におっしゃってくださいました。

Table with 4 columns: May 10 (Fri.), May 11 (Sat.), May 12 (Sun.), May 13 (Mon.). Rows include Morning, Afternoon, Evening activities like Opening Ceremony, Scientific Sessions, Tea breaks, Registration, Welcome Reception, Night Tour, Gala Dinner.

Official Language: English

だったと思います。

台湾女医学会の先生方の暖いホスピタリティと会運営のスマートさが、しみじみ感じられた四日間でした。

初日、受付をすませ、そのブースに貼られた写真を眺めると、名札を見られたのが同年輩の先生から、日本からの先生方をお世話させていただきます頼ですと流暢な日本語で話しかけられました。東京医科歯科大に留学していたとおっしゃる頼先生には、その後帰るまでいろいろお世話になりました。年輩の先生方の中には日本に留学された方々もいらっしゃいましたが、若い先生方は米国や英国への留学が多いようです。

突然の座長役に大あわて

—西太平洋地域会議に参加して—

千葉支部 上田由紀子

なぜか急に思い立って参加した女医学会の集まりは、すばらしい感動を私にくださいました。久しぶりの英語の発表でしたから、準備も大変でしたが、このようにすべての診療科の女医さんが、たくさん集まるとは驚かされた。開かれる学会とはどんなものなのか、とても楽しみました。

たいへん楽しくなごやかなパーティーから始まり、女医という共通点があるので、あちこちにおしゃべりの花が咲いていました。親睦が目的の会議で、なおかつ最新の他科の知識を取り入れられるこの会議はとて有意義でした。他科の研究といっても、女性として興味

皆きれいな英語を話されます。そのことを誉めるとわれわれは日本の先生方が羨ましい、何事も日本国内で事足りるから、台湾では専門書などは英語の本を読むしかないのですとも話していらつしやいました。小規模ながら身近なアジア圏での国際会議に参加して、二年後の東京での国際会議についていろいろ考えさせられました。今回のように、参加してよかった、楽しい会だったと皆に喜んでいただけような会にしたいと願っています。どうかその折にはよろしくご協力くださいまして、一人でも多くの先生方がご参加くださいますようお願いいたします。

AAUW

Educational Foundation International Fellowshipのお知らせ

AAUWはAmerican Association of University Womenの略語です。この団体からアメリカ留学のためのフェローシップの公募が参りましたのでお知らせいたします。

年度：2003年—2004年 支給額：Master/First Professional; \$18,000 Doctoral; \$20,000 Postdoctoral; \$30,000

選定基準：

- ① 学問的に優秀でリーダーシップの能力が証明される人
② 地域あるいは職場の中で他の女性と協調できる人
③ 女性の地位向上のために研究を続ける人
④ 留学後、確実に自国に戻れる人

資格：

- ① 以前または現在、AAUWフェローシップをもらっている人は申請できない。
② 申請者は、2002年12月31日以前に学位またはそれと同等の資格を有すること。
③ アメリカ人およびアメリカとの二重国籍を有するものは申請できない。

応募期限：

- ① 正式書類提出期限：2002年12月16日消印有効
② TOEFLスコア(ペーパーテスト 550点以上)提出期限：2003年4月1日
手数料：AAUWに支払うための\$20.00の為替または小切手を添えること。

\*詳細は事務局にありますので、申請希望者はお申し出ください。

(ナショナルコーディネーター 平敷淳子)

のもてるテーマばかりでしたから、久しぶりに大学生に戻ったような気分も味わいました。休憩時間には、ヨガやストレッチのクラスもあって、体育までやってきました。プログラムをいただいたのが当日だったので、幸いに私と同じ皮膚科、形成外科の医師の発表がいくつもあり、若々しい肌を保つというテーマは世界共通なのね、と改めて実感しました。この分野こそ、女医

でなければ全うすることはできない、という点で盛り上がりました。当日、東邦大の岩平先生が急に欠席されたため、突然座長を申しつかり、こちらももう何十年ぶりの大役にあわてましたが、台湾大学の湯先生にご一緒していただき、何とか乗り切りました。

それにしても、皆様の英語力のすばらしさには、ただただ感心するばかりでした。英語を母国語としていない方のほうが多いと思うのですが、全くコミュニケーションに問題なく、冗談を言い合ったり、日常の疑問を情報交換したりいたしました。普段参加する学会は同じ専門の医師がほとんどなので、このように、たくさん他科の医師と意見を交換できる機会は貴重なものでした。また、これこそが、学会としても、また女医同士の交流の形としても理想的なのではないかしら? と思いま

Advertisement for Mobic Capsules 5mg・10mg. Includes text: 非ステロイド性消炎・鎮痛剤 劇薬 指定医薬品. Mobic Capsules 5mg・10mg (メロキシカム製剤). 薬価基準収載. 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書等をご覧ください. 製造発売元: Boehringer Ingelheim 日本ベリンガーインゲルハイム株式会社. 2002年3月作成 (2001.5)



した。21世紀には、いくつかの診療科のコラボレーションがさかんになると思いますが、われわれ女医学会のセンスはそういった点で一步先を行っているのではないかしら、と自信

普通の学会とは一味違う楽しさ

西太平洋会議に参加して

練馬支部 早水 陽子

このたび、日本女医学会理事である、角田由美子先生のお誘いを受け、5月10日より、台湾で催された、「国際女医学会西太平洋地域会議」に参加させていただきました。私は、二年ほど前にやはり角田先生からのお誘いで、「日本女医学会」へ入会させてい



その夜はレセプションパーティ。会場へ入ってみると、わっ華やか！日本語で台湾の先生が、出迎えてくれました。英語、中国語、韓国語、日本語が飛び交うパーティ会場は、久しぶりに再会した、友人たちの懐かしむ話し声や、笑い声で一杯でした。国際女医学会会長のシェリー・ロス先生始め、私からすると、とても偉い先生方が、フレンドリーに接してくださるので、少し緊張していた私もすぐにほぐれていきました。女性を軸とした、さまざまな科から出された演題は、医学部を卒業し、自分の科が決つてしまつたとなかなか他の分野の発表を、聞く機会のない私にとって、とても興味深く、勉強になりました。

またナイトツアーや台湾の観光で、ご一緒させて頂いた、オーストラリアや韓国の先生方と、それぞれの国の女医の位置、女医としての生き方などのお話を聞くうちに、自分がかにかちっぽけな医者であるかということに身につまされました。今回のこの会議に参加させていただき、国は違つけれど、女医という共通の仕事を持つ者同志が集まり、医学も含め、いろいろなことを話し合える場であり、普段、私たちが参加するそれぞれの学会とは、ひと味違う会であるということを感じました。

る人を助けるという医療の原点に立ち、自ら命をかけて実践し、現地の日本人の生還に大きく貢献した。この体験を通じ公衆衛生、予防医学、社会医学の大切さを痛感し、帰国後は軍政部滋賀司令部衛生顧問、長浜保健所長代理、ロックフェラー財団極東事務所兼公衆衛生院などの仕事に従事し、戦後荒廃した日本の地域保健・公衆衛生の発展に大きく寄与した。

1970年に日本女医学会副会長、1985年に同会長に就任し94年まで務めた。この間堪能な英語を生かして、汎太平洋東南アジア婦人協会会長、国連総会政府代表、日本国内ユネスコ委員など国際的な分野で活躍国内的にも広い分野で社会的な活動に貢献した功績は大きい。

1986年には自宅敷地の一部を武蔵野市に寄贈し、現代のグループホームのパイロット的施設・武蔵野市北町高齢者センターを夫君と開設した。先進的なデイ・ケア施設として全国的に注目され、高齢者の健康維持、寝たきり予防に尽力されてきた功績は特筆に値する。

東京女子医専を卒業して五十九年、悔いなく過ごせたことを感謝し、半世紀にわたる活動を評価していただいたことを大変光栄に思い、願わくば残された人生を生涯現役でありた

2001年の「武見記念賞」をいただいた。日医雑誌127巻・7号一〇九二頁/平成14年4月)の論説と話題「武見記念賞」(開原成允先生「執筆」)によると、この賞は故武見太郎氏を記念したものであり、日本医師会とも非常に縁の深いものである。武見太郎先生は晩年「生存の理法」という哲学的な理念を提唱され、それを後年に伝えるために、「生存の理法」を実践した人を表彰する基金を残された。この基金、即ち「公益信託武見記念生存科学研究基金」を基として、昭和62年から「武見記念賞」と「武見奨励賞」が選考されている。

『武見記念賞』を受賞して

東女医学内支部 澤口 彰子

合して得た科学的な成果を人類のために実践することを意味している。と選考委員の開原成允先生は述べている。私個人としては、医学・科学・経済学、政治学、社会学などを含めた「生存の理法」は、武見太郎先生が既に十五年以上も前から現代社会におけるさまざまな医療の問題を察知されて、人類のために「生存の理法」を実践するようにと唱えられたのではないかと推察している。過去の受賞者は、第1回がハーバード大学ハイアット教授と産業医科大学土屋健三郎元学長である。それ以降の受賞は、中尾嘉久先生、若月俊一先生、根孝一先生などである。前記の日医雑誌の論説と話題「武

『若月賞』をいただいて

都下東支部 山崎 倫子

平成14年7月25・26日両日、出席者四五〇名の元、佐久病院教育ホールで「第11回若月賞」の授与式が行われた。受賞者は中村哲福岡県PMS(シヤワールの会医療サービス)院長、宮崎和加子全国訪問看護事業協理事、そして私の三名、選考委員は井出孫六氏(作家)、大谷藤郎氏(藤風協会理事長、国際医療福祉大学総長)、川上武氏(医療評論家)、行天良雄氏(医療、医事評論家)、樋口恵子氏(東京家政大学教授)。受賞者は両日にわたり、おのおのが記念講演を一時間ほど行った。

「若月賞」とは「農民と共に生き、農民の健康を守る」活動でよく知られ、広く日本全国にも影響を及ぼした長野県佐久病院若月先生の設定された賞である。わが国が経済大国と呼ばれる中で、現実には妥協して安きにつく風潮があり、国の理想がともすれば失われることを恐れ、理想を求めない医療、理想なき社会、理想なき人間からのような行動が生まれ、どのような結果が招来するであろうか、凛然とせざるを得ない。人

それぞれの信念と理想に従って、保健、医療、福祉の分野で真摯な活動している方々を顕彰したいと考えたのは、以上のことを憂えるからの他にないであろう。「若月賞」は農村医学だけでなく保健、医療、福祉のどの分野でも社会的に真摯な生き方を追求しようとする人を広く対象としている。

私の選考理由は、大谷藤郎氏と井出孫六氏により発表され、次の通りである。1943年に東京女子医学専門学校を卒業、同年11月ハルビンに帰省、12月からハルビン医科大学内科に勤務した。1945年8月9日、旧ソ連軍の突然の侵攻、8月15日の終戦、中国東北地方(旧満州)は混乱の極みにあった。五十万人を越える見捨てられた開拓民家族、一般住民の難民化、結核やチフスの大流行、幼い子供達の餓死、暴行を受け中絶手術に並ぶ女性たち、こうした極限状況の中で、まだ二十代でありながら、現地指令軍司令官らと交渉し、ハルビン市に国際病院を開設、困ってい



まず今回の企画参加は私にとって日本女医学会への初めて参加でした。宮城県女医学会の山本藤子先生からご紹介いただいたことがきっかけです。宮城県女医学会への参加は、臨床研究チームで研究助成金をいただいていたからです。若輩者で、なかなか月例会への参加もままならないのですが、勤務形態や、専門分野、年齢の枠を越えた、会の主旨・雰囲気にとっても共感を覚え、また先輩方の姿に教わる機会が多く、私にとってはとても

### 女子医学生と女性医師とのシャッフルに参加して

東北大学大学院医学系研究科神経科学分野

日下 康子

意義深い会です。「女子医学生と」と聞いて、いまだ経験の浅い私に何が話せるだろうかと、思いましたが、とにかく、「全国の女医さんで、どんなかんじだろう」と、「女子学生は東北大とどう違うだろう」という好奇心のみで出かけました。一口で、終了後の感想を表すならば、「圧倒されました」。先輩方、学生さん方のエネルギーに、帰路、みっちりエネルギーの充電され

た私がおりました。「脳神経外科ってたいへんでしょう、しかも女性で」という、言葉を、一歩外に出るとよくかけられてきました。しかし、私の感想は、女性だからたいへん、ということはないんじゃないでしょうか、ということですが、その答えを当日みなさんからいただいたような気がしました。それぞれの分野で、みなさん仕事に、私生活に情熱を保ち続けてどちらも見事な軌跡を残されていらっしゃいます。好き、楽しい、楽しもう、という、とてもシンプルなものが実は原点であり、意識しないうちにエネルギーの元になっているのでは、と皆さんの、輝く笑顔を見て確認できたと思っています。

男性優位の社会で、女性どうしてこそ分り合える問題点も多いのは確かです。かといって自分で世界を狭くしないことも大事だと思います。その点日本女医学会の視点の高さには感服しております。分り合える女性どうしの、横のつながりを大切に、今後も何らかの形で、日本女医学会の活動に参加させていただけたらと思っております。

このような貴重な機会をいただけたことに、お世話になりました諸先生方にこの場を借りて、お礼を申し上げます。

**自然と健康を科学する漢方のツムラ**



ツムラ薬工場 (医療用漢方製剤専用工場)

ツムラは、医療用漢方製剤の科学的研究を通じて、21世紀の健やかな長寿社会の実現に貢献していきます。

**株式会社ツムラ**  
 東京都千代田区二番町12番地 7F 102-8422  
<http://www.tsumura.co.jp/>

### 女子医学生と女性医師とのシャッフルに参加して

群馬支部 古川 雅子

女子医学生さん方の日頃の悩みや将来の問題について先輩医師たちとお茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で語り合いました。8月25日企画に参加して参りました。8月25日大宮ソニックシティー九階の会場には橋本会長をはじめ理事の先生方、各方面でご活躍の先生がしだいに集まりになられ自己紹介があたりで行われ、主催者側はスタンバイOKといった感じで女子医学生の来場をお出でになった学生は山口、長崎、

群馬大と女子医大各一名でした。人数は少なかつたのですが遠くからいらして下さったことだけで熱意が感じられ嬉しい気持ちになりました。さらに東邦医大若手医局員一名が加わり、用意されたテーブルでは徐々に話が進んでいきました。学生さんたちの関心事はやはり「結婚・子育てと仕事の両立」と「留学」でした。二十数年前の自分と重ね合わせ「いつの世も悩みは同じ」と感じた次第です。前者については各テーブルで先輩の先生方からの貴重なアドバイ

見記念賞(開原成允先生ご執筆)を引用させていただくと、「法医学という、ある意味では地味な学問に一生を捧げ、空息を一度に研究され国際的な評価を受けた、それだけでも十分な業績であるが、数年前までは京大と東大にしか認められていなかった司法解剖を東京女子医大にも認めさせた、日本の官僚組織の作った長年の慣習を変更することは至難のことであり、情熱と粘り強さによって可能であったのであろう。初めて女性医師としての受賞者である点

スがあり、後者については平敷淳子理事より詳しく説明をいただきました。子育ても終わり留学の夢も遠い昔となった私でさえ「いまからこころから」と新鮮な気持ちになったのですから、参加された学生さんはさぞかし刺激をうけたことでしょう。個人的にはこのような有意義な企画に参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後の問題点もいくつかありましたが、参加学生さんの人数を増やすには? というところでポスター配布方法、開催日時など今後の課題となりました。

先輩の先生方のお話を聴きましてあらためて「医師として女性であることは決してマイナスではない!」ということを確認しました。たしかに一番勉強し経験を積まなければならぬ時期に女性は結婚出産子育てそしてやると子育ても一段落したころに訪れる親の介護という一大事業を成し遂げなければなりません。周囲の理解もままならぬ状況で「女性性は損だわね」という声もよく聴いたものです。女性であることをマイナスイメージで捉えてはいなかったでしょうか。

しかしこれらの体験から発せられる女性医師の患者へのアドバイスは、どんな学術的文献よりも説得力があり理解され感動を与えるものです。

**DAINABOT**  
 診断は、情報集約です。

**血糖も、ケトンも。これ一台で。**

血糖とケトンの両方を、一台で選択して測定できる。使いやすさを、いちだんと向上させた血糖自己測定器「エキストラ」。多くの糖尿病患者さんの声にお応えして生まれました。

血糖自己測定器

**MediSense® Xtra® エキストラ®**

※ 診断治療にあたっては、専門医へご相談下さい。

**ダイナボット株式会社** 診断薬・機器事業部  
 本社 / 〒106-8535 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル

メディセンス お客様ダイヤル  
 フリーダイヤル **0120-100-325**  
 (受付:月~金/9:00~17:00)



### 宮城県女医学会の女性健康相談室

理事 山本 蒔子

広瀬川河畔に面した静かな場所に、新しい仙台市医師会館が平成13年夏に完成した。宮城県女医学会では仙台市医師会からその一室の使用許可を得て、毎週土曜日に女性の健康相談室を平成14年4月から開始した。

この相談室開設のきっかけは平成13年11月に日本女医学会の後援によって宮城県女医学会が開催した市民公開講演会であった。この講演会の講師をしてくださった千葉県知事・堂本暁子氏は、国で出来なかったことを地方で実現するとし、女性の健康を守る施策として、千葉県立東金病院に女性医師による女性専用外来を開設した。この病院は交通の便の悪い場所であるにもかかわらずたいへんな盛況で、受診を希望する女性の予約であふれていると熱のこもった口調で話された。公開講演会に参加した宮城県女医学会の会員は、女性医師の視点で女性の患者の相談にあたる

ことが求められていることを強く感じた。日本女医学会愛知県支部は以前から健康相談室を開いておられ、専門家が相談にあたる方法をとられていた。私たちは、相談は専門の科にこだわらず、相談者の話を聞くカウンセリングを中心として、必要や希望により専門医を紹介することを原則とした。準備として、精神科の講師によるカウンセリングに関する基礎的な講習を企画して、会員に受けてもらった。現在27名の会員が持ち回りで相談を担当している。

相談の申し込みには携帯電話の留守電機能を使うことにした。相談室の開設と相談申し込み方法、相談室の携帯電話番号をチラシなどで周知した。相談を希望する人は、この番号に自分の電話番号を知らせて申し込み。当番にあたった担当者は、申込者に電話をして相談日と時刻を連絡する。相談日が終わった後、携帯電話は次の担当者に届けるという方法をとった。

相談を開始した当初は、広報が不十分で相談者が少ない週もあったが、6月に地方紙「河北新報」に記事が掲載されてから、相談件数が増加した。



受賞当日千葉支部会員に囲まれた稲葉先生

### 稲葉美佐子先生の 荻野吟子賞授賞パーティー開く

千葉支部 秋葉 則子

4月〜7月の間の面談件数は十七例であり、内容は、①精神疾患六例(うつ傾向三、パニック症候群二、過換気症候群一)、②生活面の悩み五例(夫の暴力二、性生活一)、③婦人科疾患三例(手術後のトラブル、更年期障害、卵巣腫瘍)、④不定愁訴三例であった。例数が少ない中で相談内容は多彩であり、いずれも適切な相談相手が無く、女性が悩んでいるようすがうかがわれ、この

日本女医学会百周年記念式典が行われた年に千葉県の女医学会支部より稲葉美佐子先生が荻野吟子賞を受けられた。

ような相談の必要性を実感させられた。始めたばかりの事業ではあるが、女性医師こそが取り組むべき問題であることを知らされたばかりでなく、相談を担当した会員にとっても学ぶべき点が多かったと思われる。今後の事業をさらに継続し、症例の検討なども加えて、よりよいカウンセリングと相談事業の発展を目指していきたい。

ネの家の開設五周年の記念パーティーと合同の盛大なお祝いの会が開かれました。

千葉支部 秋葉 則子

千葉県医師会長藤森宗徳先生、習志野市長荒木勇様、女子医科大名誉教授村田光範先生、東大名誉教授平山宗宏先生ら錚々たる方々のご出席のお名前を見るだけでもいかに稲葉先生が日頃多方面にご活躍されておられるかお仕事の幅広さが伺い知れました。

「日本女医学会百年史」正誤表(第2回)

34ページ下から5行目	不屈不側	不屈不撓
261ページ上から9行目	窪 淳子	窪 敦子

### 月刊誌「ゆうゆう糖尿病」のご紹介

理事 内潟 安子

日本女医学会は月刊誌「ゆうゆう糖尿病」を2002年5月創刊し、現在のところ順調に発行している。本年はちょうど日本女医学会百周年記念にあたることもあり、本月刊誌の創刊は、昨今の糖尿病人口の増加に対して日本女医学会として一石を投じたことになる。

現在、患者さん向けの雑誌はいくつか月刊誌、季刊誌はあるが、「ゆうゆう糖尿病」は、患者向けで、症例を中心にして、かつひとりの執筆者が一年をかけて連載するという形式をとっている。また、これまでにない新しいアイデアは、一カ月の間の一六〇〇カロリーの献立カレンダーと一カ月の間の献立書き込み表、一カ月の間の体重、体調の記録表と運動チェックカレンダーがついていることである。これは斬新なところである。このような試みは他にない。これらに記録して、通院時に主治医に見せることができる。少ない外来受診時間をこれだけに有効に活用できるか、想像に難くない。糖尿病患者さん

は、ぜひこの月刊誌の便利さをわかっていたらと思う次第。すでに多くの患者さんからお便りが届いている。七月号から「お便りコーナー」も設けられているので、そのなかから二、三紹介する。(田)連載ものである。続けて糖尿病の知識を深めることができる。(月)小児と

### 「性教育ビデオ」のご活用を

子育て支援小委員会

社会福祉・医療事業団の平成13年度「子育て支援基金」の助成により、性教育ビデオができました。このビデオは、小学校低学年から6年生くらいを対象に、性の健康について、親子で学ぶきっかけに活用していただけのように日本女医学会の監修で作製したものです。

性教育は子どもの発達段階に応じた、基本的な知識を分かりやすく正しく、いつ、誰が、何を、どのようにか妊婦とか、たいいていの雑誌ではあまり記載されていない分野にも十分のスペースがあり、とてもいい。(イ)食事療法の重要性は分かっているが、実際のこととなるとむずかしいと思っていたが、毎回献立が付いているのでうれしい。(ウ)コンビニのものを上手に使う方法はこれまでどこにも載っていない。献立のところが切り取ってファイルしている。(エ)献立カレンダーは便利だ、などなど。心疾患であれ、肝臓疾患であれ、大人であれ、子どもであれ、糖尿病はある。すべてを網羅した雑誌が、「ゆうゆう糖尿病」である。

遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 薬価基準収載

劇薬、指定医薬品  
要指示医薬品：注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

**エポジン®** シリンジ 750 6000  
注 アンプル 1500 9000  
EPOGIN® 3000 12000

エポエチン ベータ(遺伝子組換え)製剤

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照下さい。

中外製薬 (資料請求先) 〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-9

ロシュグループ

CEP-0080 2002.10

例が増えています。性教育は、小さい時から子どもの疑問や質問に自由に話し合える親子関係で、自然に教育できる家庭の雰囲気が大切ですが、親だけではむずかしいこともあります。親の方が戸惑ったり、無視したり、先送りしてしまつて、大切な教育の機会を失っているケースが多いようです。

日本女医学会は、地域医療に活躍している女医会の先生に、親としての経験や医師としての専門家の立場で、社会活動の一環として、子育て支援に活躍していただきたいと願っています。ぜひ、PTAの皆様や養護の先生と協力され、「親子で学ぶ性教育」学習を企画され、健康な性についての健康教育を分かりやすくご指導頂けると、効果的であると考えます。そのような機会に、このビデオと一緒に見ながら、自然体で科学的な正しい性知識を教育していただきたいと願っております。

ビデオは約十四分程度で、内容は①命のはじまり ②思春期と第二次性徴 ③受精って何? ④出産・そして大切な約束と、命の大切さを対話方式で子どもに理解しやすいようにまとめてあります。

日本女医学会は2002年10月と2003年2月に指導医(講師)のた

めの養成講座を計画しております。ぜひご参加いただき、新しい知識や情報の収集、模擬授業のテクニックなども研修頂けたら幸いです。先生の地域活動の一環として、子育て支援へのご理解とご協力を心からお願いたします。

山口時子著 『出すときこまる、出なくてこまる』

神奈川支部 塩谷千賀子

私の皮膚科診療所でも、年配の女性に多いのですが、診察する部位によっては見せることかかなりの抵抗があるようです。診る側にとってはどの場所も同じなのですが、患者さんにとってはやはり勇気のいることなのです。まして肛門となるとおさらのことです。

かという私も医者でありながら、多分痔であろうと直腸がんの進行を見逃してしまいました。やはり診察を受けることがつい億劫だったからです。もっと早く気楽に診察を受ける気持ちになっていたらと今さらながら悔まれます。

著者、山口時子先生は東京女子医大一一般外科での研修終了後、社会保

価格二、〇七五円(本体価格一、五〇〇円+送料・税) 申し込みは日本女医学会事務局へ 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 一八七 青山宮野ビル三階 電話:03-3498-0571 FAX:03-3498-8766 E-mail:jawa@jade.dti.ne.jp

山本(續)、野澤、松本(以上18名) 欠席者:内瀉、川田、澤口、鹿田、田中、松井、丸茂、吉崎、山本(時)(以上9名)

1月理事会議事録の承認 報告事項 一、庶務報告 久田理事 別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 森川理事 平成14年1月分収支別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告 一、庶務部 平敷理事 北海道支部より「地域医療奉仕活動への助成」へ申請があったが、規定に準じず、公開講演会としてなら援助ができる旨知らせる。

二、広報部 大坪理事 会誌169号を送送、170号の原稿を依頼中。

百年史は2月1日に編纂委員会を開催した。3月6日に最後の委員会を開催、刊行に向け最終段階に入っている。

【学術部】 山本(續)理事 「女性医師のキャリア形成と健康調査」(荒木会員原案作成)の実施を前向きに検討したい。

【橋本会長より】 医療福祉事業団の助成金で制作のビデオ、2月中に完成予定。

各賞選考委員会の結果発表。

吉岡弥生賞(社会に貢献した部門) 関根みよ会員(埼玉支部) 荻野吟子賞 安藤まさ子会員(埼玉支部) 稲葉美佐子会員(千葉支部) 亀崎 善江先生(非会員) 学術研究助成 田辺晶代会員(東女医内支部) 榎本京子会員(埼玉支部) 大西礼子会員(東女医内支部) 協議事項 一、平成14年度事業計画案および予算案

①庶務部 ブロック別懇談会は山陰方面で開催したい。予算は会計部へ提出する。

②事業部 別紙計画案の説明。予算は従来通り。

③渉外部 従来どおり

④広報部 従来どおり

⑤学術部 学術講演会を平成14年10月26日(第四土曜日)と平成15年2月22日(第四土曜日)に開催予定。予算はそれぞれ七〇万円。

「女性医師のキャリア形成と健康調査」は助成申請も考慮に入れ、学術部を中心に実施する。予算は一五〇万円申請。

二、百周年記念事業の件 「世界最初の女性医師」エリザベ

ス・ブラックウエルの一生」は近々完成。一、五〇〇円で一般へ販売する。 式典当日の各理事の具体的な役割を次回理事会で詰めて検討する。 会計部より祝賀会に三〇〇人出席と想定しその会費収入、パソコン講習収益、現在までの寄付金等を加算し、収入は二九、七九五、七五五円。一方、支出の見込みは三七、三七一、七九四円。まだ約一、〇〇〇万円の不足。支部長に収支予算案を明記し、会員一人一百万円の寄付のお願い済み。運営準備引き上げ金の取り崩す可能性もある。理事は、一〇万一口として何口でも。

先月の理事会で説明のあった東京女子医科大学との寄付への協賛の書類を経団連に持参し、改めて寄付の免税措置のお願いに伺う。各支部長に推薦企業名を伺う。

寄付をされた方・企業にはお礼状はすぐ送付し、多額寄付企業には式典終了後に感謝状、記念品を差しあげる。

時間も残り少ないので進捗状況を常に報告し、決定すべき事項を理事全員が把握するようにする。

三、第47会定時総会(於東京)の件 別紙(案)を検討。評議員会は10

00、各賞の表彰は14・15・15・30

てみようかなという気持ちにさせられます。 装丁と本文中のイラストに出てくる可愛らしい鳥さんたちもイメージ作りに一役買っているのでしょうか、

【新刊紹介】 茂田滄海著 『サラリーマンの父から息子への、六十七通の手紙』

8月末久しぶりに日本女医学会事務局に出向きましたら、私宛に一冊の書籍が届いていました。岩手医科大学学長「小野繁」氏推薦、茂田滄海著の「サラリーマンの父から息子への、六十七通の手紙」です。「中国の名言をちりばめて」という表紙の文字に惹かれて読んでみました。茂田滄海はペンネームで本職は製菓会社勤務のサラリーマン、二足の草鞋を履いておられます。息子さん(岩手医大の学生)であり、著者が岩手県出身ということもあって、岩手医大

学長の推薦をいただいたとのことでもあります。 著者は中国の名言を通して、学問と日常生活を直結させることを目的としたと書いています。われわれも何か原稿を書いたり、講演したりするときに、何気なく中国の名言を使っておりますが、この名言の原義や

由来をきちんと理解した上で使っているでしょうか。 本書はその名言の原義、由来、出典などを調べ、通常の解説書スタイルではなく、「息子」に宛てた書簡形式で六十七の名言が収められております。私個人はとも啓発された本でした。皆様にもご一読をお奨めします。

発行所:株式会社 文芸社 販売用電話:03-5368-2298 定価:(本体一、三〇〇円+税)

日時:平成14年2月23日(土) 午後3時より 場所:日本女医学会会議室 出席者:橋本、石原、加藤、橋川、青井、大坪、清水、角田、久田、平敷、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)

【理事会議事録】

一、庶務部 久田理事 別紙どおり報告、承認される。 二、会計報告 森川理事 平成14年1月分収支別紙どおり報告、承認される。 三、各部報告 一、庶務部 平敷理事 北海道支部より「地域医療奉仕活動への助成」へ申請があったが、規定に準じず、公開講演会としてなら援助ができる旨知らせる。 二、広報部 大坪理事 会誌169号を送送、170号の原稿を依頼中。 百年史は2月1日に編纂委員会を開催した。3月6日に最後の委員会を開催、刊行に向け最終段階に入っている。 【学術部】 山本(續)理事 「女性医師のキャリア形成と健康調査」(荒木会員原案作成)の実施を前向きに検討したい。 【橋本会長より】 医療福祉事業団の助成金で制作のビデオ、2月中に完成予定。 各賞選考委員会の結果発表。

00、各賞の表彰は14・15・15・30

5-HT<sub>2</sub>プロロッカー ANPLAG<sup>®</sup>錠50mg・100mg 細粒10% ANPLAG Tablets, Fine granules 塩酸サルボグレラート製剤 指定医薬品 薬価基準収載 \*〈禁忌〉〈効能・効果〉〈用法・用量〉 〈使用上の注意〉等の詳細については、製品添付文書をご参照ください。 製造発売元 三菱ウェルファーマ株式会社 大阪市中央区平野町2-6-9 2002年7月作成

久田理事を講師に「新しい体験を通して(仮題)」と題して短い講演会を開催することに決定。多数決は拍手でとる。円滑な議事進行のためあらかじめ議長と司会のシナリオを作成し、所要時間の短縮を目指す。

四、小委員会に関する内規の検討  
昨年12月以来検討している改定案を承認。このまま運用し不都合がある場合はそのつど検討する。

五、国際女医会西太平洋地域会議の件  
5月10日(13日)台北で開催される。若い会員の反応も多いが、多数理事の出席の要請。またM W I A関係者たちが西太平洋地域会議参加後、百周年記念式典に出席されるので、国内旅行の際に案内等の協力を要請。

六、中東女性交流の件  
国連N G O国内婦人委員会関連事業、日本・ジョルダン・エジプト・パレスチナ女性交流団一行が来日に伴い行われる行事に関して参加者を決める。

2月26日・クロースド・ディスカッションと外務省主催レセプションに平敷理事が出席

2月27日・ジョルダン大使公邸でのレセプションに平敷理事が出席

2月28日・横浜で開催される市民公開フォーラム「イスラムの女性たちは今一女性と法律」に山崎(康)理事と神奈川支部長の大竹先生が出席

3月1日-2日・箱根への一泊旅行には橋本会長と角田理事が参加。来年度は日本女医会の担当であるので、受け入れ時期を検討し2003年の2月上旬、千葉で開催に決定する。こちらからの訪問は10月初旬。その他

①「いきいき」執筆の件  
今年9月号よりテーマも決めてほしいとの要望があり、患者さんからの素朴な質問などをテーマに書いてほしい。希望の先生は事務局に提出。

②ペイオフ対策について  
現在、富士銀行に約六、三〇〇万円、大和二、一八〇万の預貯金がある。預金保険機構の発表によると大手都市銀行は保障されることである。しかし、金融危機の予知のため株価を常にチェックする。長嶋先生にも相談し、対応する。

③大坪理事より  
日中医学交流センターより北京国際医療センター勤務の女性医師の求人があり、ホームページに載せることとする。応募多数の場合は理事による面接で決定。

④理事会終了後、J C Bと阪急交通社より「国際女医会西太平洋地域会議・台湾旅行」の説明があった。

副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田

理事会議事録

日時：平成14年3月23日(土)  
午後3時より  
場所：日本女医会会議室

出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、内瀧、大坪、川田、澤口、鹿田、清水、角田、久田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、山本(詩)、吉崎、野澤、松本 (以上24名)  
欠席者：田中、丸茂 (以上2名)

理事会に先立ち、社会福祉医療事業団「子育て支援基金」助成金より作成した十代の性教育用ビデオを内容検討のため試写。各自の意見・感想を元に修正ビデオを作成する。

2月理事会議事録を承認

報告事項  
一、庶務報告 久田理事  
別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 川田理事  
平成14年2月分収支別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告  
なし

協議事項  
一、百周年記念事業の件  
・式典(総理、厚生大臣、都知事

理事会議事録

日時：平成14年4月20日(土)  
午後3時より  
場所：京王プラザホテル  
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、内瀧、大坪、川田、澤口、鹿

・平素多大なご協力を頂いている東京都支部連合会の今野信子先生に「日本女医会百周年記念特別功労賞」吉武幸先生に「地域功労賞」の授与を諮り全員賛成で決定。

・免税処置希望の企業からの寄付は「東京女子医大経由」を説明の上紹介する。3月27日に医療用医薬品製造業公正取引協議会と薬品会社への寄付対応の件で面談する。

・事務職員給与の定期昇給を認め

副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田、山本(詩)

・「平服」についての質問が多いので詳しく説明する。

・ICSより理事会に会長・副会長との話し合いを持ち、別紙検討事項について決定したことの説明があった。

・申込みは現在の所、会員一七五名、招待者は式典・祝賀会出席三名、祝賀会のみ出席四名あり。

・4月13日土曜日に京王プラザホテル・エミネンスホールでICS、京王プラザホテル担当者立ち会いのもとICSがシナリオを作成し、実地見聞をする。

・担当により作成された式典、祝賀会プログラム案を検討する。

また、祝賀会での祝辞、乾杯、万歳の音頭などなたに依頼するか検討する。

・「鏡開き」をする事に決定。橋本会長の知人(日本女医会会員)に無償提供を依頼する。

・アトラクションは食事の後に、

二、定時評議員会、定時総会の件  
・時間割を決定。10時~11時・評議員会、11時~12時30分・昼食、12時30分~13時30分・総会、13時45分~14時30分・表彰、14時30分

出席者：内瀧、角田、丸茂、森川、山本(續)、野澤 (以上6名)

4月理事会の議事録を承認

報告事項  
一、庶務報告 清水理事  
別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 川田理事  
平成14年4、5月分収支別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告  
なし

【事業部】  
・「いきいき」執筆の協力を要請。

【広報部】  
・大坪理事  
・日本女医会誌170号は百周年記念特集号として発行する。

【JMS】より日本女医会特集号を発行予定である。

協議事項  
一、第47回定時総会の反省  
①評議員会  
・報告事項と協議事項の区別の仕方に問題があった。シナリオを作成したが採決の方法等もまだ徹底されなかった。

・緊急動議が提出された時、いま結論を出すかあるいは後に検討するかの回答をだし、発言者に納得させるべきである。

②総会  
・表彰者のスピーチが予定より長くなる。

理事会議事録

日時：平成14年6月15日(土)  
午後3時より  
場所：京王プラザホテル  
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、大坪、川田、澤口、鹿田、清水、田中、久田、平敷、松井、村田、山崎(ト)、山崎(康)、山本(詩)、吉

・ホテルの一般客にも考慮して、出店の仕方を今後改める。

二、百周年記念事業の報告と反省  
・石原百周年記念事業・実行委員  
・長より協力に対する謝辞があった。式典会場の前方席に空席が目立ったが、政治家の欠席・中座があるためやむを得ない事である。

・日薬連より一六社、四〇〇万円の寄付をするとの連絡があった。

・すべてがICS企画正社員で運営されていなかったのに注意する。澤口理事より宮内庁よりお褒めの言葉があったとの報告。

・記念品の受け渡しにミスがありサファイア会員と一般会員の色分けをもっと明確にすべきであった。

・「百年史」残部があるので、一冊二、〇〇〇円送料五〇〇円で販売することが承認される。六〇冊は必ず残す。ホームページに広告を載せる。

・「百周年記念式典ビデオ」を三〇〇本、「JMS・日本女医会百周年特集号」は二、〇〇〇冊は作成するが、出席者に無償で贈呈するか、その対処の仕方について検討。

・青井理事より現在までの「百周年特別会計」報告があった。

・展示では(株)コニカの全面的な協力があつた。

三、第26回国際女医会議の件

田、清水、田中、角田、久田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(詩)、吉崎、野澤、松本 (以上24名)  
欠席者：丸茂、山本(續) (以上2名)

3月理事会議事録を承認

報告事項  
一、庶務報告 久田理事  
別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 青井理事  
平成14年3月分収支別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告  
なし

【広報部】  
・大坪理事  
・会誌170号の校正会議を4月12日に開催。

【事業部】  
・平敷理事  
・今年9月からの「いきいき」、執筆依頼。

協議事項  
一、第47回定時評議員会、定時総会の件  
・各次第(案)に基づいて所要時間、議事進行の仕方等を検討する。

・総会は12時半より3時。「世界最初の女性医師」エリザベス・ブラックウェルの「一生」の紹介は事業部で行う。講演会は三十分。

・議事の採決は拍手でとる。

・評議員・総会の各議長、議事録署名人の候補を検討する。会長より

依頼状を送付する。

評議員会 議長：緒方文江先生  
議事録署名人：加藤光子先生・高山博子先生  
山博子先生  
総会 議長：小田泰子先生・秋葉則子先生  
山年子先生  
議事録署名人：大塚貞子先生、中

二、百周年記念事業の件  
・「鏡開き」は樽三ヶ。一つの樽につき七名。半被の色を見本を参考者に決定。理事は実費を払い注文をする。

・VIPの案内係別紙(案)を参照に決定。

・式典受付は14時30分より15時5分まで、15時40分に着席終了

・式典・祝賀会の式次第の再確認をする。

・5月7日に宮内庁、皇宮警察、警視庁本庁、新宿署を交えて予行練習をする。また5月17日15時より最終打ち合わせをする。

・ICS企画の作成した「受付マニュアル」を参考に当日の作業の流れを検討する。

・百周年記念式典での展示は、コンコードボールルームCで行い、飲み物も用意する。

・報道については宮内記者会(十社)のみとする。

・記録などは「JMS」が特集号を組むので一任する。

・2004年国際女医会議について  
平敷理事を事務局長として組織委員会(案)を作成。承認を得る。

・日中医学交流団が来日し、6/19(水)に表敬訪問をしたいとの希望がある。渉外部が対処する。以前に募集した「中国で働く女性医師」は応募が全く無く、今後とも募集しているため理事の協力を要請する。

・「いきいき」の内容について  
40巻4号に角田理事の記載した挿図に間違いがあり、抗議文を送る。次号に訂正文を入れてもらう。今後は挿図も校正を要求する。

・「百年史」を贈呈するところを決定する。

・社会福祉・医療事業団の助成金で行う事業は事業部の監督の元に行う。

副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田、山本(詩)

平敷ナショナルコーディネーターより

・配布した準備スケジュール(案)、Scientific Committee (案)を検討する。意見は平敷理事に提出する。

・first circular はなるべく早く発送する予定。

・2004年、国際女医学会議用のホームページをICSが立ち上げる。

・学生、co-medicalなど多方面の分野よりProgram Committeeに参加してもらう。

・国際観光振興協会を通し、五〇〇万円の免税処置が許された。募金趣意書(案)を会計部と検討する。

四、小委員会、プロジェクトの件

・事業部が計画し、運営するのはそれぞれ分野の専門家とする。  
・社会福祉・医療事業団に提出した書類の説明があった。講習会は二回開催、インターネットによる相談事業を立ち上げる。委員会で協議されたものを逐次理事事に報告する。

五、第6回ブロック別懇談会の件  
・10月27日(日曜日)、米子で開催予定。平敷理事がアウトラインを作成する。

六、その他  
①ナショナルコーディネーター報告

台湾で開催された西太平洋地域会議は2004年の参考になることも多く、大変すばらしい会であったとの報告。

②「荻野吟子女史生家長屋門」復元修理事業のための募金について以前から要請のあった募金協力について検討したが、日本女医学会として一〇万円を寄付する。

③ホームページ作成・運用についてホームページを更新することにより、人材バンク始め多数の情報を提供する事になるので、広報部が担当し記載内容の検討をする。アドレスは(jmwa.or.jp)を取得できるようにする。

④社会福祉・医療事業団の助成で作られた「ビデオ」について購入の希望が多数あるので最低価格で販売する方向で検討する。社会福祉・医療事業団に販売基準等を問い合わせる。

⑤種々の依頼  
・乳房研究会より「第3回セミナー乳がん早期発見のため乳がん検診のバリアをなくそう」の後援依頼。名義のみの後援で承認。

・対馬先生より未来館から今年度も「女子医学生セミナー」開催の依頼。今年度は事業部で開催企画するのでお断りする。

また、その他、現在まで来ている依頼はすべてお断りする。

⑥大坪理事より中国女医学会が交流会を開催したいとの申し出があり、多数の参加を要請。

⑦稲生先生(神奈川支部)より「はしか」予防接種で根絶は可能だとの新聞記事に対し、誤解を招く内容なので抗議をしてほしいという希望があった。現在小児科医学会などで行っている行動を一般新聞に投稿してはとの意見が出された。

⑧ペルー女医学会より医療機器のリースサイクル希望ある旨の報告があり検討した。簡単な医療機器以外は器械の取り扱いが困難で問題が多いとの意見が出された。

⑨山本(時)理事を庶務部と事業部兼任に、との希望が出された。次回理事会の継続審議とする。

⑩東京都支部連合より9月歌舞伎座鑑賞券購入の協力依頼があった。

⑪職員夏期賞与二カ月分とする。

会員動静(敬称略)

副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田、山本(時)

- ◇入会  
横内 載子 (昭和60年卒) 青森  
樋渡奈奈子 (昭和53年卒) 宮城  
藤崎 直枝 (昭和39年卒) 群馬  
木村由美子 (平成6年卒) 埼玉  
鈴木 幸代 (昭和19年卒) 栃木

- 吉田 友英 (昭和60年卒) 千葉  
大本 赫子 (昭和46年卒) 神奈川  
小関 温子 (昭和39年卒) 神奈川  
長田 雅子 (昭和24年卒) 神奈川  
吉田 友子 (昭和60年卒) 神奈川  
菊池久美子 (昭和63年卒) 荒川  
茂野 淑 (昭和46年卒) 荒川  
関 はるみ (昭和59年卒) 荒川  
渡辺 緩奈 (平成13年卒) 大田  
瓜生 寛子 (平成5年卒) 北  
稲葉 貴子 (昭和61年卒) 杉並  
千葉奈緒子 (昭和61年卒) 杉並  
大坪由里子 (平成9年卒) 世田谷  
伊藤寿賀子 (昭和53年卒) 都下東  
伊藤 真夏 (平成5年卒) 都下東  
松浦理英子 (昭和54年卒) 都下東  
藤本 美香 (平成11年卒) 大阪第8  
明石 夕香 (昭和61年卒) 大阪第9  
行岡 陽子 (昭和34年卒) 大阪第10  
高見 寿美 (昭和35年卒) 兵庫  
笠置真知子 (昭和55年卒) 愛媛  
◇退会 会員数 19名  
◇自然退会 会員数 38名  
◇物故  
小川婦美子 (昭和24年卒) 岩手  
小泉 和 (昭和4年卒) 茨城  
青木 ちよ (昭和16年卒) 神奈川  
柳谷 紀子 (昭和14年卒) 神奈川  
真鍋 昌子 (昭和11年卒) 大田  
安田 宮子 (昭和24年卒) 大田  
椎原 順子 (昭和23年卒) 北  
中尾 初枝 (昭和12年卒) 都下東  
西谷 享子 (昭和43年卒) 広島

集記 編後

さわやかな秋になりました。百周年記念のわずかな事業がすみ、ほっとしているところ。すばらしかった記念式典の余韻がまだ残っています。「日本女医学会百年史」の出来ばえはいかがですか。歴代の広報部員が心をこめて作りました。いろいろのところで活用していただければ幸いです。

今は2004年7月の国際女医学会の準備を着々と進めています。理事会は心一つにして女医学会の運営にあたっていますので、きつと楽しい立派な会になるでしょう。よりよい医療と福祉のために女医の力を発揮していきましょう。「家族より強き絆と我なりて死亡届に印を押ししたり」(大坪)

日本女医学会誌 第172号 平成14年10月25日発行  
編集人 大橋 公子  
発行人 坪山 葉子  
制作 金剛 剛出版  
発行所 社団法人 日本女医学会  
東京都渋谷区渋谷2-8-7 電話 03-3498-0571  
青山宮野ビル 電話 03-3498-8769  
〒150-0002 FAX 03-3498-8769  
http://www.jade.dti.ne.jp/~jmwa/  
e-mail address: jmwa @ jade.dti.ne.jp